**z**amova

アセットマネジメント(am)を ムーヴ(move)する

## Rakuyom<sup>†</sup> 金融システムの安定に重要なメガバンク Vol. 2,048 "G-SIBs"の最新リストが公表に

### 顔ぶれは変わらず。バケットは一部で入替え

世界の金融システムの監視等を行なう国際機 関であるFSB(金融安定理事会)は、11月26日、 年1度のG-SIBs(Global Systemically Important Banks、ジーシブズ)の見直し結果を公表しました。 G-SIBsは「グローバルな金融システム上、重要な 銀行」のことで、昨年と同じ29行が選ばれました。 G-SIBsはバケットと呼ばれる区分けがされており、 バケットが高いほど、金融システム上の重要度が 高い銀行となっています。今回の見直しでは、 クレディ・アグリコル・グループがバケット1から2へ 引き上げられ、バンク・オブ・アメリカがバケット3か ら2へ引き下げられました。

# 金融システムの健全性維持のために

FSBは、銀行規制の国際合意に基づき、G-SIBsを選定し、様々な規制などを課しています。 2008年のリーマン・ショックを機に世界金融危機へ と陥ったことへの反省から、前身の組織を強化・拡 大するかたちで設立されたFSBは、G-SIBsを通 じて、国際金融市場の安定性を高めることを目

指しています。

G-SIBsに選ばれた銀行は、FSBから様々なこと を求められています。今回の見直しと合わせて発 表されたバケットごとに定められている自己資本に 上乗せする比率もその一例です。これは、バーゼ ル規制(国際的に活動する銀行の自己資本比率 や流動性比率等に関する国際統一基準)で定め られている自己資本に上乗せが求められる比率で す。バケットが高い銀行、すなわち、金融システム 上の重要度が高い銀行ほど、その上乗せ比率が 高く設定されています。銀行が予期せぬ損失に直 面した際に、自己資本を使って損失を吸収し、そ の影響が金融システム全体へ波及するのを最小 限に抑えるためです。

G-SIBsには、自己資本の強化のほかにも、レバ レッジ規制やリスク管理、ガバナンスの強化、ストレ ステストの実施など、追加の規制要件の遵守が求 められています。こうした国際的な取り組みが機能 し、G-SIBsが高い健全性を維持することにより倒 産リスクが低減され、国際金融システムの安定確 保につながっています。

### G-SIBsに求められる自己資本の上乗せ比率 (2024年11月公表)

バケット5       3.5%       該当なし         パケット4       2.5%       JPモルガン・チェース         パケット3       2.0%       シティグループ HSBC         中国農業銀行       パンク・オブ・アメリカ 中国銀行         バークレイズ       BNPパリバ 中国建設銀行         ドイツ銀行       ゴールドマン・サックス クレディ・アグリコル・グループ 中国工商銀行         三菱UFJフィナンシャル・グループ         UBS	バケット (レベル区分)	上乗せ 比率	銀行名
バケット3     2.0%     シティグループ HSBC       中国農業銀行 バンク・オブ・アメリカ 中国銀行 バークレイズ BNPパリバ 中国建設銀行 ドイツ銀行 ゴールドマン・サックス クレディ・アグリコル・グループ 中国工商銀行 三菱UFJフィナンシャル・グループ	バケット5	3.5%	該当なし
HSBC	バケット4	2.5%	JPモルガン・チェース
バンク・オブ・アメリカ 中国銀行 バークレイズ BNPパリバ 中国建設銀行 ドイツ銀行 ゴールドマン・サックス クレディ・アグリコル・グループ 中国工商銀行 三菱UFJフィナンシャル・グループ	バケット3	2.0%	
920	バケット2	1.5%	バンク・オブ・アメリカ 中国銀行 バークレイズ BNPパリバ 中国建設銀行 ドイツ銀行 ゴールドマン・サックス クレディ・アグリコル・グループ 中国工商銀行

交通銀行 バンク・オブ・ニューヨーク・メロン BPCEグループ INGグループ みずほフィナンシャルグループ モルガン・スタンレー ロイヤル・バンク・オブ・カナダ サンタンデール ソシエテ・ジェネラル スタンダードチャータード	バケット (レベル区分)	上乗せ 比率	銀行名
ステート・ストリート 三井住友フィナンシャルグループ トロント・ドミニオン ウェルズ・ファーゴ	バケット1	1.0%	バンク・オブ・ニューヨーク・メロン BPCEグループ INGグループ みずほフィナンシャルグループ モルガン・スタンレー ロイヤル・バンク・オブ・カナダ サンタンデール ソシエテ・ジェネラル スタンダードチャータード ステート・ストリート 三井住友フィナンシャルグループ トロント・ドミニオン

※2024年11月公表の、バケット変更に伴なう自己資本の上乗せ比率は、 2026年1月1日から適用されます。

(FSBの公表資料をもとに日興アセットマネジメントが作成)

- ●各国規制当局によって規制が異なることなどから、最終的な所要自己資本比率は、金融機関毎に異なります。
- ●上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。 また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。
- ●上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

#### 日興アセットマネジメント

当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるもので はありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある 資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがつて、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・ 換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。